

3館連携企画 生誕200年 河田小龍展

200TH ANNIVERSARY
SHORYO



河田小龍肖像写真（部分）個人蔵

連携館および会期

高知県立坂本龍馬記念館

「3館連携企画 生誕200年 河田小龍－龍馬に世界を教えた男」
会期：2024年10月23日（水）～12月15日（日）

高知県立歴史民俗資料館

「3館連携企画 生誕200年 河田小龍－土佐の人々とのつながり」
会期：2024年11月1日（金）～2025年1月5日（日）

高知県立美術館

「3館連携企画 生誕200年 河田小龍－激動期への眼差し」
会期：2024年11月9日（土）～2025年1月5日（日）

<見どころ>

幕末維新期を代表する土佐の絵師・河田小龍^{しょうりょう}（1824-1898）の生誕200年を記念し、小龍を中心に幕末から明治期にかけての激動の時代を振り返る展覧会を、（公財）高知県文化財団が管理する3つのミュージアム（高知県立坂本龍馬記念館、高知県立歴史民俗資料館、高知県立美術館）の共同企画にて開催します。

河田小龍は幕末維新期の土佐の知識人として坂本龍馬に指南したことでも知られ、絵師としては時代の記録者としても重要な役割を果たし、明治期には京都、広島、九州など各地を旅しました。

坂本龍馬・幕末、歴史民俗、美術の3つの切り口のミュージアムが、それぞれの特性を生かした展覧会を行い連携し、幕末維新期をマルチな才能をもって生き抜いた河田小龍の多様な活躍を紹介します。

<河田小龍とは>（かわだ／かわた しょうりょう 文政7年～明治31年）

高知城下浦戸町（現・高知市南はりまや町）に生まれる。

土佐で南画家、島本蘭溪に師事したのち、京都に出て狩野派と南画を学んだ画人で、アメリカから帰国した中浜万次郎（ジョン万次郎）の聞き取りにあたり、その絵入りの記録『漂異紀略^{ひょういぎりやく}』を記した。

「幕末土佐の奇才絵師・絵金^{えきん}」とは師弟に近い関係にあり、祭礼の場に飾る「芝居絵屏風」を手掛けるほか、端正で着実な筆致による人物画や、明治時代の土佐の風物を多く描くなど幅広い画風で知られる。晩年は京都へ拠点を移し、琵琶湖疏水（※1）工事の記録画の作成なども手掛けた。後進の育成にも尽力し、弟子に『風俗画報』の挿絵画家・山本昇雲などがある。

※1…琵琶湖の水を直接京都市内に引き入れ、水道水、発電、農業に活用する水路

イラストレーター 柴田ケイコさん描きおろし「しょうりょうさん」特製ステッカーをプレゼント

高知を拠点に、イラストレーター・絵本作家として活躍する柴田ケイコさんに、河田小龍のイラスト「しょうりょうさん」を描きおろしていただきました。3館すべての小龍展を巡ると、「しょうりょうさん」の特製ステッカーをプレゼントするスタンプラリーを開催いたします。



©柴田ケイコ

<柴田ケイコさんプロフィール>
高知県在住のイラストレーター・絵本作家。『パンどろぼう』（KADOKAWA）や『おいしそうなしろくま』（PHP 出版社）など多数の絵本を手がけ、数々の絵本賞も受賞している。

3館共同・関連企画（一部ご紹介）

● 記念講演会「舞台は回る、激動の時代の美術（仮題）」

開国か攘夷か？維新か復古か？新国家をめざし龍馬らが奔走し、小龍が活躍した時代は、美術にとっても「激動」の時代でした。幕末から維新时期に、何が舞台から退き、何が新たに登場したのか、文化の諸相についてお話いただきます。

日程：12月7日（土）13時半～15時

講師：木下 直之 氏（静岡県立美術館 館長）

場所：高知県立坂本龍馬記念館 新館1階ホール

※定員：50名（先着順）／聴講無料／申込：11月1日（金）より受付。詳細は坂本龍馬記念館 HP をご確認ください。

● スペシャルトーク「くらべて楽しむ 河田小龍の作品（仮題）」

高知県立美術館で開催している「小龍展」に3館の学芸員が集まり、それぞれの視点から小龍作品を分かりやすく解説します。子どもから大人までご参加いただけます。

日程：11月9日（土）14時～15時

場所：高知県立美術館 2階 小龍展会場

● 学芸員の解説付きでめぐる！小龍ゆかりの地 バスツアー

小龍の作品は、身近なところにも数多く伝わっています。学芸員の解説付きで、地域に伝わる小龍作品や小龍ゆかりの地をめぐる。 （※参加申込等については、各館 HP をご確認ください。）

① 11月16日（土）－赤岡・安芸をめぐるバスツアー（県立美術館・県立歴史民俗資料館）

② 12月1日（日）－土佐市絵馬&津野町襖絵バスツアー（県立坂本龍馬記念館）

そのほか、小龍ゆかりの地のウォーキングイベント史跡巡りや、「小龍お散歩ガイドブック」の配布、学芸員による展示解説、レクチャーなどを開催予定です。

（詳細は各館の HP や、チラシをご確認ください。）

主な展示作品（広報用画像）

●高知県立坂本龍馬記念館 展示点数：50点（一部展示替）



（左）河田小龍『漂異紀略』大津本より 高知県立坂本龍馬記念館所蔵



（右）沿岸防備の大砲 高知県立歴史民俗資料館所蔵

●高知県立歴史民俗資料館 展示点数：約25点



（左）河田小龍《絵馬「鎮西八郎為朝図」》文久元年（1861） 南国市・祈年神社所蔵



（右）河田小龍《秋草に鹿図》（右隻） 個人蔵

●高知県立美術館 展示点数：約130点



（左）河田小龍《玄宗皇帝楊貴妃並笛図》文久元年（1861） 高知県立美術館寄託



（中）河田小龍《神靈矢口渡》幕末～明治初期頃 高知県立美術館蔵



（右）河田小龍《疏水南禅寺廻路之図》明治23年（1890）頃 個人蔵

【連携館および開催場所】

高知県立坂本龍馬記念館 781-0262 高知県高知市浦戸城山 830 / Tel：088-841-0001

高知県立歴史民俗資料館 783-0044 高知県南国市岡豊町八幡 1099-1/Tel：088-862-2211

高知県立美術館 781-8123 高知県高知市高須 353-2 / Tel：088-866-8000

※いずれも指定管理者公益財団法人高知県文化財団が管理運営